

22

医療法人社団  
愛友会

上尾中央総合病院

362-8588 上尾市柏座1-10-10

TEL 048-773-1111(代表) FAX 048-773-2952

URL https://www.ach.or.jp

病院データ

※2024年4月～2025年3月の計数

病床数

733床

医師数

279人

指導医数

101人

外来患者数  
(1日平均)

1,475人

入院患者数  
(1日平均)

624人

救急外来  
患者数  
(1日平均)

40人

救急車搬送  
患者数  
(1日平均)

23人

心肺停止状態  
搬送患者数  
(1日平均)

0.76人

診療科目 内科／循環器内科／消化器内科／脳神経内科／糖尿病内科／腎臓内科／血液内科／呼吸器内科／呼吸器腫瘍内科／肝臓内科／アレルギー疾患内科／感染症内科／腫瘍内科／緩和ケア内科／心療内科／小児科／産婦人科／外科／整形外科／脳神経外科／心臓血管外科／消化器外科／肝臓外科／乳腺外科／呼吸器外科／気管食道外科／肛門外科／内視鏡外科／小児外科／泌尿器科／女性泌尿器科／耳鼻咽喉科／頭頸部外科／眼科／形成外科／美容外科／皮膚科／麻酔科／救急科／放射線診断科／放射線治療科／病理診断科／臨床検査科／リハビリテーション科／歯科口腔外科／総合診療科(院内標榜)／膠原病内科(院内標榜)／臨床遺伝科(院内標榜)

病院の特徴

『自立』『責任』『信頼』

医師としての基盤となる3つの資質を身につけ、伸ばすことを約束するプログラムです。

『自立』救急外来では年間約8,400件の救急車を研修医たちがファーストタッチで扱います。指導医は裏方の役目に徹し、研修医がまさしく自分自身の力で診療する能力を養います。

『責任』総合診療科研修ではほぼ主治医に匹敵する仕事を任せられます。治療方針の決定やICも研修医の仕事です。甘えは許されません。

『信頼』地域医療研修では自ら外来枠をもちます。患者さん一人ひとりと密接な関係性を構築することが求められます。

臨床研修管理委員会とは別に臨床研修指導者委員会を設置し、5～10年目の若手医師、看護師、メディカルスタッフが研修医一人ひとりに目を向けて研修の様子をいつも見守っています。

支援制度

- 見学補助／なし
- 住宅補助／あり
- 宿舎／あり
- 産休・育休  
(研修医の取得実績)／あり

メッセージ

当院の研修医たちのゴールは「たくましさ」です

臨床研修センター センター長  
黒沢 祥浩  
出身大学:慶應義塾大学

未来の自分がどのような苦境にも負けることなく、周囲からの信頼を得て医療を遂行するためのスキルです。そして、それは生涯にわたって彼らを助けてくれることでしょう。

私たち指導医は彼らの「たくましさ」の獲得を援助します。「自ら考え行動する」という研修医の姿勢を見守り、ときに手を差し伸べるのが私たちの大切な役割です。研修医たちはもがきながら多くを学び、成長し、そして答えをみつけたときに達成感と明日へのモチベーションが生まれていきます。救急科研修でくじかれ、総合診療科研修で悩み、離島へき地研修で新たな発見をしていく。ダイナミックな研修プログラムです。

先の数年ではなく数十年後の医師人生を支える土台作りが必ずできる

研修医1年目  
清水 友美  
出身大学:国際医療福祉大学(2025年卒)

病院見学の日、黒沢先生のこの一言で、私は「ここで研修する」と心を決めました。そして始まった念願の研修生活。「誰よりも患者さんに寄り添うぞ!」と気合十分でスタートしましたが、現実はその甘くありません。準備不足の私に患者さんは待ったをくれず、「まだ研修2か月目で…」なんて言い訳はもちろん通用しません。研修医でも、一人の責任ある医師として目の前の人に向き合わなければならない。そんな当たり前のことすら分かっていなかった私は気合だけ十分で、知識も技術も足りず、「寄り添いたい!」なんて、どの口が言えたのかと恥ずかしくなるばかりでした。こんな自分を誰が信頼してくれるだろう。ひとり悔し涙を流したことも既に複数回です。それでも毎朝、自分を奮い立たせて病院に向かいます。するとそこには、同じように悩みながら挑戦する同期がいて、励ましてくれる先輩がいて、「失敗してもいい、患者さんを想うことだけは忘れるな」と温かく背中を押してくれる先生がいます。「自分は一人じゃない。」そう思わせてくれるこの環境だから、ここで未熟な自分と向き合い続けることで、「揺るがない土台」を築いていきたいと、この病院で研修すると決めたあの日より、強く強く決意しています。

研修データ

初期研修医数  
(1年目)

18人

初期研修医数  
(2年目)

19人

昨年度  
マッチング  
受験者数

86人

募集人数

19人

当直日数  
(月平均)

4日

当直  
開始時期

1年目4月

当直時の  
勤務体制※  
※研修医以外の当直人数

7人

主な  
出身大学

北海道大学／旭川医科大学／札幌医科大学／弘前大学／秋田大学／岩手医科大学／山形大学／東北大学／福島県立医科大学／東京医科歯科大学(現・東京科学大学)／東京医科大学／東京女子医科大学／日本医科大学／東京慈恵会医科大学／東邦大学／帝京大学／順天堂大学／杏林大学／日本大学／昭和大学(現・昭和医科大学)／埼玉医科大学／獨協医科大学／聖マリアンナ医科大学／国際医療福祉大学／北里大学／東海大学／群馬大学／山梨大学／筑波大学／新潟大学／金沢大学／富山大学／福井大学／浜松医科大学／名古屋大学／名古屋市立大学／信州大学／藤田保健衛生大学(現・藤田医科大学)／近畿大学／滋賀医科大学／三重大学／鳥取大学／川崎医科大学／島根大学／広島大学／徳島大学／産業医科大学／長崎大学／熊本大学／鹿児島大学／佐賀大学／大分大学／宮崎大学／琉球大学／漢陽大学／Shahid Beheshti University

研修プログラムの特色

医師として必要不可欠な素養を包括する三つのキーワード、「責任」、「信頼」、「自立」を身に付けることを目的として作成されたプログラムである。

そのために3本の柱、すなわち救急科(日当直を含む)研修、総合診療科研修、地域医療研修(離島・へき地研修)を研修の中心に立て、そのほかの研修科で知識や技術を補う形を取っている。救急科・日当直では年間約8,400台を超える救急搬送患者をファーストタッチし、総合診療科研修では医療チームのリーダーとなり、診療方針の決定からICまで医療に関わるすべてを研修医自らがこなすことを原則としている。離島・へき地研修は、医療資源の少ない場所での診療、訪問診療、外来診療を幅広く学ぶ場となっている。また、指導医の使命は教える・導くことではなく、研修医の成長と自立を最大限促すような環境づくりをすることとしている。

| 研修スケジュール(年間研修予定(例)) |                                                                              |     |      |      |    |     |     |     |     |     |    |    |
|---------------------|------------------------------------------------------------------------------|-----|------|------|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|
|                     | 4月                                                                           | 5月  | 6月   | 7月   | 8月 | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月 | 3月 |
| 1年次                 | 内科系<br>(糖尿病内科・血液内科・消化器内科・循環器内科・脳神経内科・腎臓内科・腫瘍内科・総合診療科)か<br>2科以上選択※総合診療科は12週必修 |     |      |      |    |     | 救急科 |     |     | 麻酔科 |    | 外科 |
| 2年次                 | 外科                                                                           | 小児科 | 産婦人科 | 地域研修 |    | 精神科 | 選択科 |     |     |     |    |    |

※必修:内科系24週、救急科12週、麻酔科8週、外科8週、小児科4週、産婦人科4週、精神科4週  
選択:24週～28週(糖尿病内科、血液内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、腎臓内科、腫瘍内科、総合診療科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、産婦人科、耳鼻咽喉科、麻酔科、放射線診断科、臨床検査科、救急科、病理診断科、地域研修)  
※当院で決めた必須科目の外科については、4週は外科を必須として、4週については外科系(外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科)の中から選択できることとする。  
※1 地域研修は必修4週、選択4週まで(合計8週選択可能)  
※2 精神科研修は埼玉県立精神医療センター・帝京大学医学部附属病院で実施する。

| 専門研修<br>プログラム<br>(基幹施設) | 内科    | 外科         | 小児科  | 産婦人科  | 精神科   | 皮膚科 | 眼科  |
|-------------------------|-------|------------|------|-------|-------|-----|-----|
|                         | 耳鼻咽喉科 | 泌尿器科       | 整形外科 | 脳神経外科 | 形成外科  | 救急科 | 麻酔科 |
|                         | 放射線科  | リハビリテーション科 | 病理   | 臨床検査  | 総合診療科 |     |     |

研修医の処遇

● 給 与

● 諸 手 当

● 勤務時間

● 保 険

● 休 暇

● そ の 他

／ 1年目:400,000円、2年目:430,000円(月額)

／ 当直手当、日勤手当

／ 9:00～17:30

／ 埼玉県医師会健康保険組合、厚生年金保険、雇用保険、労災保険適用、厚生年金基金等企業年金、医師賠償責任保険(病院において加入)  
有給休暇(入職3ヵ月後:3日、6ヵ月後:7日、初年度:10日支給)

／ その他(特別休暇・年末年始・産前産後休業・育児休業・介護休業)  
宿舎当院規定(5万円を上限として、家賃半分の支給する ※上尾市内在住限定)その他処遇:常勤、健康診断:年2回、医師賠償責任保険:病院において加入・個人加入は任意、学会・研究会等への参加:可、参加費用支給有、医療費見舞金制度、24時間保育園、保養所(軽井沢／那須／熱海)、院内旅行、その他

応募連絡先

人事課 秘書係(臨床研修担当):伊藤・井上

TEL 048-773-1111(代表) FAX 048-773-2952 Mail ishi\_jinji@ach.or.jp

55

56